

4月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和3年4月末現在〕

令和3年5月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで回復した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」に変化はなかったが、「売上高」「収益状況」は回復した。非製造業でも、「収益状況」に変化はなかったが、「景況」「売上高」は回復した。

前年4月は新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言の影響を受けて、売上等が大きく落ち込んだため、その影響で、前年同月と比較すると、今回は幅広い業界で売上等が回復したが、前々年同月と比較すると、依然として厳しい状況が続いている。

景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-34.6ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント改善の-29.2ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-32.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の-23.1ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント改善の-12.5ポイント、全体では、前月比8.0ポイント改善の-18.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の-34.6ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-33.3ポイント、全体では、前月比8.0ポイント改善の-34.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	学校給食パン	前年同月は新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校措置のため、学校給食の注文が全くなかったため、前年同月と比較すると好転している。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県3月の清酒課税移出数量は、前年同月比116.9%であった。大きく伸びたように見えるが、昨年3月が新型コロナウイルスが流行し、世間が委縮して大きく落ち込んだためであり、コロナ禍前の前々年3月との対比では90.2%減少である。本格焼酎については厳しく、前年同月比84.4%であった。4月に近県で緊急事態宣言やまん延防止措置が発令され、また売上が落ちる見込みである。清酒の輸出については、県や企業間で温度差があるもののコロナ禍で国内マーケットが不安定の中で輸出に力を入れて、令和3年2月の前年同月比輸出数量(全国ベース)は、141.8%と好調であった。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いている、香港・中国が好調で、香港・中国・米国で輸出の60%以上を売り上げている。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスが出始めた1年前から、繰り返しの緊急事態宣言による自粛により、主な消費ルートである飲食店への売上が激減。家飲みも他県大手メーカーの安価なパック酒が主流であるが、最近高品質の高級酒を家飲みする人が増えてきていると思われる。他県の有名酒が人気であるが、購入の選択肢に地酒をアピールしていくことが課題と考えている。
	納豆	土産品の売上は前年同月よりも観光客が多くなってきたので、前年同月比ではやや改善しているが、新型コロナウイルスの影響により深刻なマイナスが続いている。一般消費者用の売上は前年同月よりやや悪化している。原料の大豆(輸入品)の値上げにより業界全体の景況が悪化している。
	菓子	外出自粛に左右される店舗の営業は依然厳しい。
	漬物	3度目の緊急事態宣言後、商品の売れ行きが減少傾向。
繊維工業	袋物	例年より1ヶ月以上前から受注が切れ、完全にストップした。休業している同業者も多い。先行きがかなり見えない状況。
木材・木製品	製材	・構造材、羽柄材ともに深刻な製品不足、価格の高騰となっている。 ・輸入材も、新型コロナウイルスの影響、コンテナ不足に加えウッドショックにより木材不足及び価格が高騰している。 ・原木についても価格が高騰している。
	県北地区プレカット	国内外での深刻な木材価格の高騰、供給不足で加工ができなくなっている。
	県央地区プレカット	4月に入り、木材品薄及び価格の高騰のため加工スケジュールに影響が出始めている。木材納材日が不透明のため材料の揃ったものから加工するといった状態になっている。材料が揃わない・価格の高騰を理由に着工の延期をするケースも出てきている。
紙・紙加工品	段ボール	売上がほぼ新型コロナウイルス感染拡大前の数字まで戻って来た組合員と、まだ戻らない組合員と半々といったところである。我が社はまだ戻っていないのが現状。青果物用の段ボールを中心に生産していたり、5G関連や医療関係等、このコロナの中でも比較的良好な所もあり、各社コロナ前の数字に戻りつつある。
印刷	総合印刷	新型コロナウイルス感染症により、暮らしや経済活動の形が大きく変わってきている。リモートワーク、オンライン会議等々が定着してきており、この一年間「紙への印刷」需要が大きく落ち込んでいる。そして、このような状況がいつまで続くのか、業界全体の不安感は大い。
窯業・土石製品	陶磁器	第40回笠間の陶炎祭が無事に5月5日に終了した。開催にあたっては、様々なご意見があったが、感染防止策を徹底し、来場者の安心、安全の確保に努めた。陶炎祭の開催が他のイベント開催の参考になれば何よりである。
鉄鋼・金属	鉄鋼	景気の状態について、前年同月にはコロナ禍の影響が出てきており、本年4月も前年並みであった。売上・設備の操業度は前々年同月比で10~20%程度低下している。自動車部品関連についても減少している。また、今まで比較的好調であった建設・住宅関連の部品についても20%程度低下している。燃料・灯油・ガソリン等については値上がりの傾向。金属では、ニッケル等は現状維持、亜鉛は値上がり傾向、貴金属等は少し落ち着いたが高値で推移している。薬品等の価格に大きな変化はない。
一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比べてすべて増加となった。全体増減率は前年同月比156.8%であった。昨年は新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休業による稼働日数減少等もあり売上減少となったが、今年は通常通りの稼働となったことに加え、主要得意先の海外向け需要の回復もあり、全社とも売上高が大幅に増加。回復基調を維持している。
輸送機器	県北地区自動車部品	生産高は増加傾向にあるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響は残る。先行きには半導体の不足など懸念される課題がある。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和3年4月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比11.41%増加。前年同月は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う1回目の緊急事態宣言が発令され、取扱高もかなり落ちていたため、前年同月比ではかなり伸びているように見えるが、仲卸業者・一般買受人等は厳しい状況が続いている。当組合運営の市場内冷蔵倉庫が4月1日より再稼働しているが、建設期間1年3か月の間、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市場を取り巻く状況も大きく変わったため、稼働率をどこまで伸ばせるかが今後の課題である。
	県南地区卸	全体的に売上高はやや増加しつつある。
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比で1.3%の増加となった。4月末決算に伴う出荷袋数も前年同月比3%増加となった。これは台風復旧工事等の特需に恵まれた事による。
小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比125.3%、客数は同102.9%、前年同月の売上を確保した店舗は66.6%であった。全体的に好調だった。
	県央地区共同店舗	館全体の売上(客数)は前年同月比112%(109%)、食品103%(108%)、飲食123%(131%)、ファッション203%(214%)。前年同月は新型コロナウイルスの影響で休業店舗・時間短縮店舗が多かったため、売上は好調だった。前々年同月と比較すると館全体の売上(客数)は96%(95%)となっており、コロナ禍の前までは戻りきっていない。
	県南地区共同店舗	前年の緊急事態宣言時に比べれば、数字は回復。集客のためのイベント等も感染症対策を実行しながら少しずつ開催した。売上高は前年同月比で、全体125.7%(前々年同月比92.2%)、衣料品111.6%、文化品521.3%(特注ありのため)、食料品115.5%、飲食104.6%、サービス119.8%となった。衣料品は相変わらず良くなく、前々年同月比では52.7%となった。
	家電	店別に売上高の格差が生じた月となった。顧客ニーズを捉えていない営業活動店は売上減少、顧客ニーズを捉えた営業活動店は、安心・安全・満足でよく売れる。業界の景況は、コロナ禍での空気清浄機等の商品を中心に当月も好調。
	燃料小売	前年同月とガソリンの販売数量はほぼ同じだが、前年同月は新型コロナウイルスの影響で原油価格がWTI(原油価格の世界的指標)でマイナスになる等、現在の仕入値と大きく違いがあり、その後の原油価格上昇分の仕入値が、販売価格に転嫁出来きれずにいる。現在も外出自粛が求められており、ガソリンの販売数量の回復は期待できず、依然として厳しい状況が続いている。
	中古自動車	販売台数は前年同月比で81.8%、売上高は同84.8%、コロナ禍による初の緊急事態宣言下で大きく実績を落とした前年同月の実績をさらに下回る結果となった。逆に販売価格は同103.7%で上昇し、流通価格の相場が高止まりしている状況が小売市場にも反映された結果と考えられる。
	食料品	食品流通業により、新型コロナウイルスの中での食のライフラインを担っているので、売上に関しては比較的好調に推移してきた。しかし、前年同月は巣ごもり需要の拡大があったが、当月は前年同月の実績から大きく離れてしまった。特に雑貨(マスク・手洗い石鹸等)、カップ麺、缶詰等、冷凍食品の落ち込みが顕著であった。しかしながら、前々年同月と比較するとほぼ変わらない。
	野菜・果実	当月は、野菜果実合計で前年同月比89%の取扱高となった。4都府県の緊急事態宣言が発令され、茨城県でも独自の感染拡大市町村の指定が設けられた中で、前年同月の様な巣ごもり需要は体感できなかった。野菜果実共に出荷が潤沢な科目が多かったため、全体的に単価安での推移となった。
商店街	筑西	新型コロナウイルスの影響により売上減少。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が106.65%、軽自動車が102.19%となり、普通車・軽自動車ともに微増となった。
	ホテル・旅館	前月同様に収益は減少。顧客の流入については、県内より首都圏を中心とした個人客が多くあったものの、伸び悩みの状況であった。GWに期待するも、感染拡大地域でのまん延防止等重点措置や緊急事態宣言下においては、期待ほどの集客は見られなかった。
建設業	総合	年度開始のため、各発注機関の動きが非常に鈍く、新規発注工事が非常に少ない。各社仕事不足している。
	型枠工事	県内の建設業者は、前年度の事業を継続しながら、新年度の工事発注を待っている状態である。そのような時期に、日本政府から緊急事態宣言の延長が発せられようとしている。その影響が、日本経済の衰退や国民の皆様の消費の減少に繋がると予想される。

非
製
造
業

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和3年4月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	一般貨物輸送	当月の組合員数は118名、車輛台数は151台で前月と比較して増減なしとなった。また、運送売上高については、前年同月比87.1%だった。全国連合会での当月の組合員数は7,430名、車輛台数は8,836台で前月と比較して36名減少、40台減少であった。
	県北地区一般貨物	新型コロナウイルスの影響で物量が減少した前年と変わりなく引続き低調となっている。今年度も物量の大幅な増加は期待出来ず、厳しい状況が続くと思われる。燃料価格は高値安定し、収益も益々厳しい状況にある。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン使用回数を増やしてもらいたい。
	清酒	酒造業者はコロナ禍により重大な経済的被害を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
小売業	県央地区共同店舗	4月より総額表示の行政指示により、表示方法など店舗によっては混乱が生じている。
	燃料小売	・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税に課税している二重課税の廃止
商店街	筑西	オリンピック開催のために、様々な業種・企業に影響が出ている。オリンピック開催を中止も視野に入れて、政府及び国会議員に新型コロナウイルス問題に真剣に向き合ってもらいたい。中小企業の飲食店・個人商店等がなくなりかねない。
建設業	総合	建築工事は昨年度、好調であったが、本年度は非常に低調であることが予測されるため各社とも年度受注競争が激しくなることを予測しているため、当初よりダンピング(採算無視の低価格での商品の投げ売り)しても受注をする構えである。是正措置をお願いしたい。
	型枠工事	日本経済の衰退や国民の皆様の消費の減少のような事態にならないよう、あらゆる経済対策を早急に実行し、建設業界をはじめ、各種団体への応援をお願いしたい。

月次景況調査 4月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比
景 況	▲ 32.0	▲ 34.0	2.0	▲ 34.6	▲ 34.6	0	▲ 29.2	▲ 33.3	4.1
売 上 高	▲ 18.0	▲ 26.0	8.0	▲ 23.1	▲ 26.9	3.8	▲ 12.5	▲ 25.0	12.5
収 益 状 況	▲ 34.0	▲ 42.0	8.0	▲ 34.6	▲ 50.0	15.4	▲ 33.3	▲ 33.3	0
販 売 価 格	6.0	▲ 8.0	14.0	15.4	▲ 11.5	26.9	▲ 4.2	▲ 4.2	0.0
取 引 条 件	▲ 10.0	▲ 20.0	10.0	▲ 7.7	▲ 23.1	15.4	▲ 12.5	▲ 16.7	4.2

中小企業月次景況調査(令和3年4月)DI値(前年同月比)

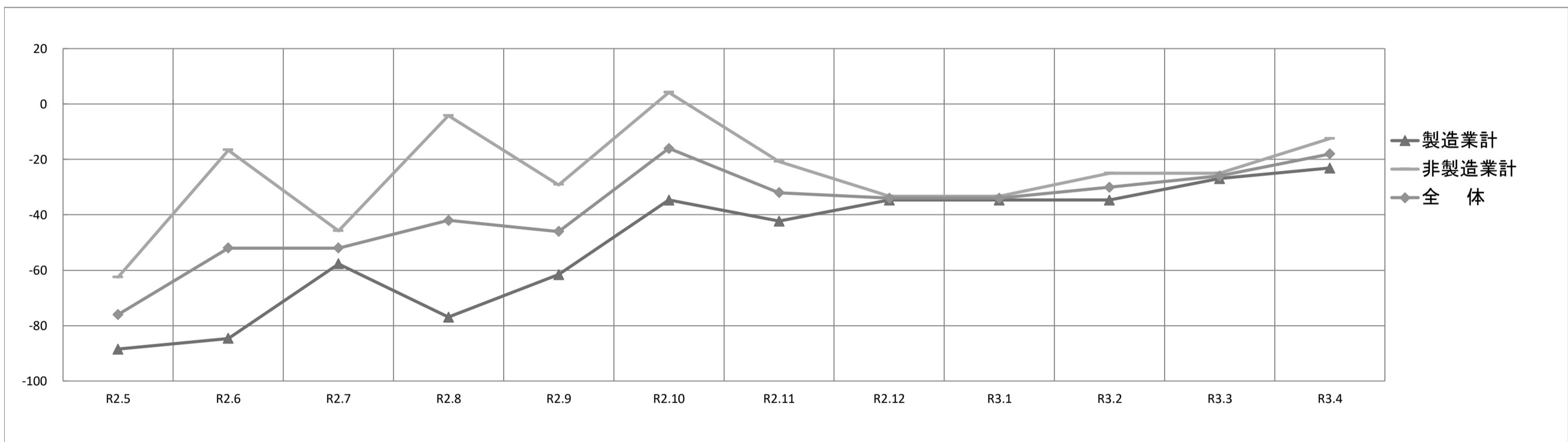
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)													
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 50.0	1	1	4	6	0.0	1	4	1	6	16.7	1	5	0	6	16.7	1	1	4	6	△ 33.3	1	2	3	6	△ 33.3	1	2	3	6	△ 16.7	1	3	2	6	△ 50.0	1	1	4	6				
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3				
	木材・木製品	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3				
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	窯業・土石製品	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5				
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1				
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2
製造業計	△ 23.1	4	12	10	26	△ 3.8	2	21	3	26	15.4	4	22	0	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 34.6	2	13	11	26	△ 26.9	1	17	8	26	△ 15.4	3	16	7	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 34.6	3	11	12	26
非製造業	卸売業	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	33.3	1	2	0	3					0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	小売業 (商店街含む)	△ 16.7	4	2	6	12	0.0	0	12	0	12	8.3	2	9	1	12	△ 16.7	1	8	3	12	△ 41.7	0	7	5	12	△ 41.7	0	7	5	12					△ 8.3	1	9	2	12	△ 25.0	2	5	5	12
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	
	建設業	△ 40.0	0	3	2	5					△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5					0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	
	運輸業	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	
	非製造業計	△ 12.5	7	7	10	24	0.0	0	15	0	15	△ 4.2	2	19	3	24	△ 12.5	1	19	4	24	△ 33.3	1	14	9	24	△ 29.2	1	15	8	24					△ 4.2	1	21	2	24	△ 29.2	2	13	9	24
全体	△ 18.0	11	19	20	50	△ 2.4	2	36	3	41	6.0	6	41	3	50	△ 10.0	2	41	7	50	△ 34.0	3	27	20	50	△ 28.0	2	32	16	50	△ 15.4	3	16	7	26	△ 6.0	3	41	6	50	△ 32.0	5	24	21	50

D I 値推移表 (R2. 5月 ~ R3. 4月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 23.1
卸売業	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	100.0	25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	100.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	9.1	▲ 16.7
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8	▲ 4.2	▲ 29.2	4.2	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 12.5
全体	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 18.0

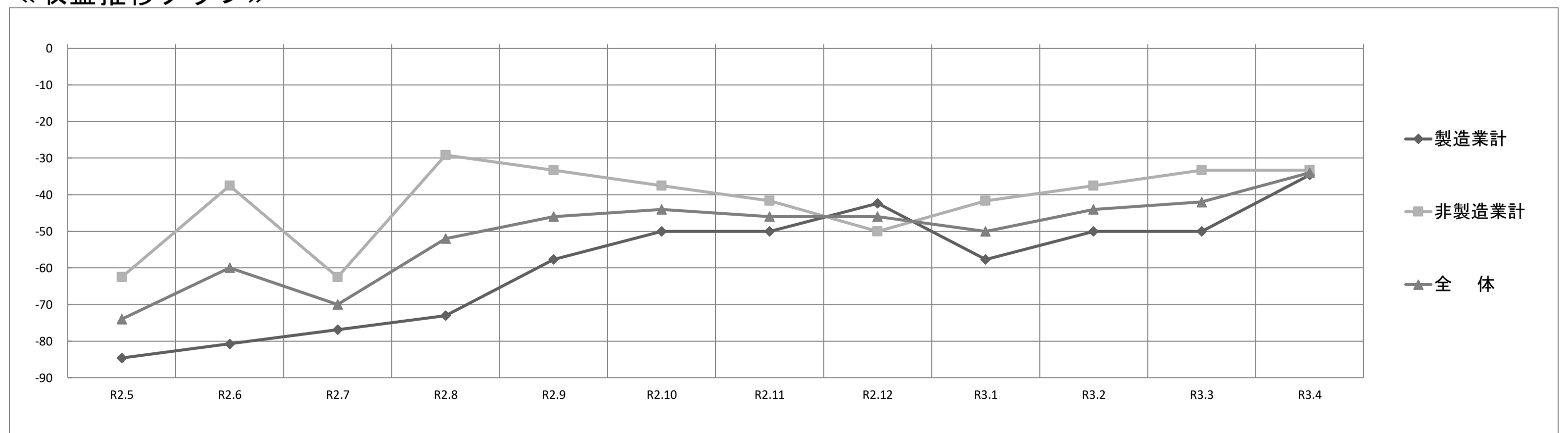
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9	R2. 10	R2. 11	R2. 12	R3. 1	R3. 2	R3. 3	R3. 4
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9	▲ 73.1	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 42.3	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 34.6
卸売業	0.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3
小売業(商店街含む)	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 36.4	▲ 41.7
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	▲ 40.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 33.3
全体	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 52.0	▲ 46.0	▲ 44.0	▲ 46.0	▲ 46.0	▲ 50.0	▲ 44.0	▲ 42.0	▲ 34.0

《収益推移グラフ》

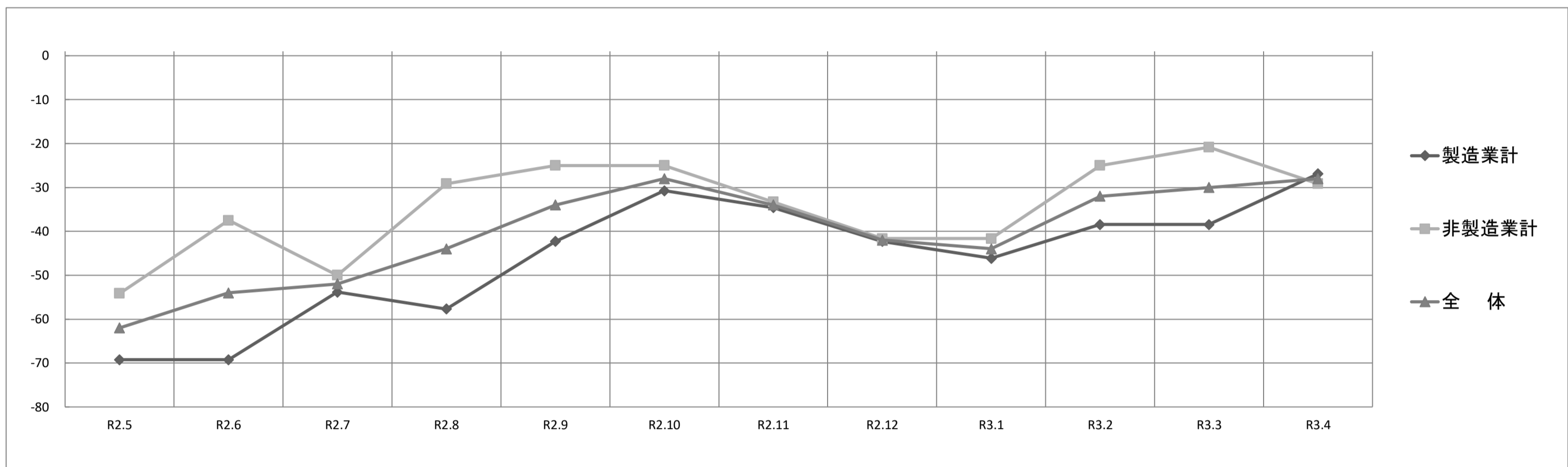


D I 値推移表 (R2.5月 ~ R3.4月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4
食料品製造業	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 42.3	▲ 46.2	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.9
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	33.3
小売業(商店街含む)	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 41.7
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2
全体	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 28.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 28.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 25.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 55.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 30.0
製造業計	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 57.7	▲ 38.5	▲ 34.6	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 25.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 18.2	▲ 25.0
サービス業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 40.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 54.2	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2
全体	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 48.0	▲ 34.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 52.0	▲ 32.0	▲ 34.0	▲ 32.0

《景況推移グラフ》

